平成19・20年度科学研究費補助金・基盤研究（C）19520114

「物語絵画における武士―表現の比較研究と作例のデータベース化」について

研究組織

研究代表者	山本陽子（明星大学造形芸術学部准教授）
研究分担者	柴田雅生（明星大学日本文化学部教授）
研究分担者	矢吹道郎（明星大学情報学部准教授）
研究協力者	近藤真子（美術史家）
研究協力者	大月千冬（共立女子大学非常勤講師）
研究協力者	出口久徳（立教大学新座中・高等学校教諭）

本研究の発端

絵巻において天皇や貴族のような貴人の顔貌表現としての引目鉤鼻とは、対照的な表現として意識されるのが、武士の顔貌と肉体である。庶民層の自由闊達な描写とも異なる、見開いた目、大きな鼻と口、頬骨の出た骨格などは、全く別の発想や起源を持つ描写ではないか。もっとも、多くの時代にわたる絵巻や奈良絵本、版本や浮世絵の中でも、そこまでの明確な差異を持たないものもある一方、特に異常なまでに強調したもの、またこの表現が武士以外にも用いられたものもある。この表現は何を基にして、なぜ取り入れられ、どのような場合に用いられたのか。

近年、武士とは何かについての再考が行われ、そのうちには絵画資料として絵巻を使ったものも数多く見られる。ただし、その多くが歴史家の視点から武士の意味や実態を追った考察であり、美術史家によるものは少なく、中世初期の特定の絵巻について述べたものに限られている。その顔貌表現について考察はあるものの、その起源や肉体表現については解明されていない。

一方、近世の武者表現に言及したものでは、その肉体の形態に触れられているが、対象は岩佐又兵衛および又兵衛一派と、初期浮世絵の鳥居派の荒事役者絵など、わずかである。岩佐又兵衛および又兵衛派の作例については辻惟雄とそれを受けた佐藤康宏が、僧兵のような武張った人物の手足の筋肉表現が、後の鳥居派の荒事の役者絵の、足の筋肉が瓢箪のように強調されたいわゆる「瓢箪足」表現の源流となった可能性を示唆する。しかし現在、又兵衛の「瓢箪足」に関するまとまった考察はない。日本絵画における武士の肉体や顔貌の表現について、美術史の側からの言及は、時代、作品とも限定されている。

そこで、近世初期に中世の武士の物語を描いた絵巻の武士の表現について、絵師や物語の内容による差異を、肉体表現と顔貌からの比較検討を目指し、所属する明星大学所蔵の、近世初期の武士を主人公とした絵本や絵巻数点を用いて、林原本平家物語絵巻などとの比較対照を企画した。これらの作品は非公開であり公開されたことがなく、このうち絵本『平家物語』はWeb上での公開をめざして一部分を写真撮影したものの、Web上での公開には至らず、書誌学的な考証も絵本史上の位置づけも行われないままとなっていた。

科学研究費を得て、まず矢吹道郎により『平家物語』絵本全冊と『北野通夜物語』を撮影してデータベース化を行い、細部まで自由に他本と比較検討できるようにした上で、柴田雅生が書誌データと文字筆跡を考証すること、さらに『平家物語』と『北野通夜物語』全図のデータベースをWeb上で公開する一方、山本陽子が武士の肉体および顔貌を比較検討し、近世初期の絵巻・絵本における武士の表現の考察を活字論文とすることを目指した。

科研交付決定額(配分額)　　(金額単位:円)

	直接経費	間接経費	合　計
平成 19 年度	2,700,000 円	810,000 円	3,510,000 円
平成 20 年度	500,000 円	150,000 円	650,000 円
総　計	3,200,000 円	960,000 円	4,160,000 円

研究の進展と成果

明星大学図書館所蔵の『平家物語』全冊（撮影済の2・3・4冊を除く）および『北野通夜物語』の撮影を依頼して画像を得、予備調査を行った結果、明星本『平家物語』挿絵の武者の表現が、軍記物としては特異であることが判明したので、明星大学日本文化学部所蔵の『十番切』絵巻を比較資料として科研間接経費により撮影し、データベースに追加、WEB公開することとした。

また、平成20年度には、研究協力者として近藤真子（美術史家）・大月千冬（共立女子大学非常勤講師）・出口久徳(立教大学新座中・高等学校教諭)の参加を得た。

研究発表

（１） 雑誌論文

山本陽子「平安絵画における筋肉表現の受容と変容―武者絵以前の「瓢箪足に蚯蚓描」―」『明星大学紀要』【造形芸術学部】（査読なし）16 号 pp.27-34（2008 年 3 月）

柴田雅生「明星大学所蔵『平家物語』絵本における撥音表記についての一報告」『明星大学研究紀要』【日本文化学部・言語文化学科】（査読なし）17 号（2009 年 3 月）（予定）

山本陽子「小画面説話画における武者の顔貌表現についての一報告」『明星大学研究紀要』【造形芸術学部】17 号（査読なし）（2009 年 3 月）（予定）

山本陽子「『平家物語』絵本･絵巻の挿絵について―明星大学図書館所蔵本を中心に―附　林原本･明暦版本･真田本･明星本場面対照表」『明星大学研究紀要』【日本文化学部・言語文化学科】（査読なし）17 号（2009 年 3 月）（予定）

（その他）

（A）WEB 公開　データベース「奈良絵本・絵巻の世界―武士の物語絵巻をよむ―」http://ehon-emaki.meisei-u.ac.jp/　（平成 20 年 11 月 18 日より）

分担	『平家物語』	書誌	柴田雅生
		釈文	柴田雅生
		用語解説	柴田雅生
		挿絵解説	山本陽子
		コラム	山本陽子
		ホームページ機能設計	矢吹道郎
	『北野通夜物語』	書誌	柴田雅生
		釈文	柴田雅生
		用語解説	柴田雅生
		挿絵解説	近藤真子
		コラム	近藤真子
		ホームページ機能設計	矢吹道郎

『十番切』	書誌	柴田雅生
	釈文	柴田雅生
	用語解説	柴田雅生
	挿絵解説	大月千冬
	コラム	近藤真子
	ホームページ機能設計	矢吹道郎

なお本ホームページには、報告書の研究論文等を転載し、さらに「明星大学蔵絵入り和本の基礎的研究」明星大学平成 20 年度特別研究費（共同研究助成費）（研究代表者柴田雅生）の助成を受けて撮影された明星大学所蔵『文正』（絵巻）・『新曲』（絵本）に釈文・解説等を加えて掲載して充実させる予定である。

(B) 公開シンポジウム「挿絵で読む平家物語―華麗なる奈良絵本・絵巻の世界―」

2008 年 11 月 22 日　於　明星大学青梅校 AV 大講義室

（共催　明星大学日本文化学部言語文化学科）

プログラム

一　明星大学所蔵の奈良絵本とその web 公開について

柴田雅生(明星大学教授)・矢吹道郎(明星大学准教授)

二　明星大学所蔵『北野通夜物語』『十番切』絵巻の挿絵

近藤真子(美術史家)・大月千冬（共立女子大学非常勤講師）

三　明星大学所蔵『平家物語』絵本の挿絵　山本陽子（明星大学准教授)

四　絵本としての『平家物語』　出口久徳(立教大学新座中・高等学校教諭)

五　座談会

(C) 3 月、公開シンポジウムの成果を踏まえ、本研究代表者・研究分担者の山本陽子・柴田雅生・矢吹道郎の研究報告に、近藤真子・大月千冬・出口久徳各研究協力者の寄稿を加え、本報告書を刊行する。本報告書の内容は、いずれデータベース「奈良絵本・絵巻の世界―武士の物語絵巻をよむ―」上においても公開する予定である。